

資 料

新 着 資 料 の 紹 介

資 料 室

1) **И. А. Львова (1974)** : 「Месторождения вермикулита СССР (ソ連の蛭石鉱床)」, ネードラ出版所レニングラード支所, 全ソ地質研究所報告, 第 216号, 231p., 図58, 表22, 参 200, 22×16 cm (露文), UDC: 553.678 (47+57)

目 次

第1章 鉱床のフォーメーション タイプ

- A群: 超塩基性アルカリ岩・カーボナタイト・カリ塩基性アルカリ岩コンプレックス中のパーミキュライト-加水黒雲母フォーメーションと加水雲母フォーメーション
- B群: 新期花崗岩類とアルカリ岩類を随伴した褶曲区の超塩基性岩・塩基性岩中のパーミキュライト-加水金雲母フォーメーションと加水黒雲母フォーメーション
- C群: アラスカイト質花崗岩と共存するマグネシア炭酸塩岩・アルモ珪酸塩岩コンプレックス中のパーミキュライト-加水金雲母フォーメーション

第2章 蛭石資源の品質評価基準としてのパーミキュライトと加水マグネシア-鉄雲母の鉱物的特徴

- マグネシア-鉄雲母とその加水生成物の構造
- 各フォーメーション タイプの鉱床の雲母とパーミキュライトの特徴
- 当該鉱物中の鉄と弗素の含有量と雲母の加水度との相関関係

第3章 タイプ別蛭石鉱床生成区の特徴

- 褶曲区の蛭石鉱床生成区
- 楯状地と卓状地の蛭石鉱床生成区
- 中央山塊の蛭石鉱床生成区

第4章 蛭石鉱床の分布規則性

- 風化殻中の蛭石鉱床の広域分布規則性
- 各種マグネシア-鉄雲母濃集体の広域分布規則性
- 蛭石鉱床の局地分布規則性

第5章 蛭石資源基地の現状とソ連全体・各地方の展望

まとめ

2) **А. К. Матвеев (1974)** : 「Угольные месторождения зарубежных стран (外国の炭田)」, アメリカ大陸・南極大陸編, ネードラ出版所, モスクワ, 236p., 図54, 表14, 参18, 22×15cm (露文), UDC: 553.94(6)

目 次

アメリカ大陸

炭田分布の規則性と埋炭量

北アメリカ

カナダ アメリカ合衆国 アラスカ

ラテン アメリカ

メキシコ カリブ海の島々 ベネズエラ コロンビア エクアドル ペルー チリー

ボリビア アルゼンチン ウルガイ

南極大陸

付図 I—アメリカ合衆国とカナダの炭田

II—ラテン アメリカの炭田

3) ソ連科学アカデミー シベリア総支部ヤクート支部地質研究所 (1974): 「Минералогия эндогенных месторождений Якутии (ヤクート地方内因性鉱床の鉱物学的研究)」, ナウカ出版所シベリア支所, ノボシビルスク, 211p., 22×15 cm (露文)

目次

- Б. Л. Флеров ほか5: チュイバガラフ錫スカルン鉱床の鉱物と成因 図5, 表7, 参21, p. 3-41
 Б. Л. Флеров ほか2: 銅-タングステン スカルン鉱床 図3, 表4, 参7, p. 41-64
 Б. Л. Флеров: パリクメイ鉱床の鉱物共生 図3, 表5, 参21, p. 64-92
 Л. Н. Индолев ほか2: サルィラフ金-アンチモン鉱床の構造と鉱物組成 図5, 表1, 参7, p. 92-108
 Л. Н. Индолев ほか5: 四面銅鉱に関する新資料と Ag·Cu 累質同像混合の問題 図4, 表5, p. 109-119
 Л. Н. Индолев ほか2: ベルホヤン地方西部の鉱床群産 Pb と Ag の硫アンチモン化合物について 表3, 参8, p. 119-125
 Г. Н. Гамянин: ヤクート地方北東部における自然アンチモンの発見 図3, 表3, 参18, p. 125-133
 Г. Н. Гамянин, Д. А. Кулагина: Ариясцит-поэротангстен鉱床産累帯構造燐灰石 図3, 表5, 参24, p. 134-147
 Я. В. Яковлев, П. П. Лебедев: ヤナ川・ボルラフ川河間地域の錫鉱床の生成温度 図1, 表2, 参22, p. 147-156
 И. Я. Некрасов, Л. В. Сипавина: Sn-S-H₂O 系と SnO-Na₂S-H₂O 系における錫硫化物と錫石の生成条件について 図5, 表7, p. 156-175

4) Д. А. Минеев (1974): 「Лантаноиды в рудах редкоземельных и комплексных месторождений (稀土類・複合鉱床産鉱石中のランタノイド)」, ナウカ出版所, モスクワ, 237p., 図94, 表78, 参208, 26×17 cm (露文), UDC: 553.493: 550.42

目次

はじめに

分析データとその解析法

第1章 狭義の稀土類熱水鉱床

セリウム弗素炭酸塩・セリウム燐酸塩鉱床 イットリウム弗素炭酸塩・セリウム燐酸塩鉱床

第2章 内因性複合稀有金属鉱床

稀有金属アルカリ花崗岩交代岩 稀有金属霞石閃長岩 稀有金属カーボナタイト 稀有金属片麻岩 含タンタル変花崗岩・含タンタルペグマタイト

第3章 外因性複合稀有金属鉱床

風化殻 砂鉱 化学源堆積鉱床

第4章 放射能原料資源

ウラン鉱 トリウム鉱

第5章 黒色・有色・多金属鉱床

第6章 非金属鉱物資源

燐酸塩鉱物資源 螢石鉱物資源

第7章 国内外の各種生成タイプの稀土類鉱床産鉱石中のランタノイド分布

稀土類鉱床の主な生成タイプ 外国における稀土類元素の用途と産地 ソ連の各生成タイプ別稀土類鉱床産鉱石のランタノイド分布とイットリウム含有性

まとめ

5) 全ソ地質研究所(1973):「Вопросы зональности эндогенных месторождений(内因性鉱床累帯配列の諸問題)」,モスクワ, 231p., 27×18 cm(露文),UDC: 553.26: 553.062/.067(47+57)

目次

- А. С. Никаноров: ペグマタイト岩体とペグマタイト田の累帯配列について 図10, 参46, p. 3-26
 Д. В. Рундквист, В. К. Денисенко: グライゼン鉱床脈田の扇状・弧状構造と鉱体の累帯配列 図15, 参17, p. 27-50
 Ж. Д. Никольская: ベト=パク=ダラー稀少金属鉱床田のメタロジェニック累帯配列 図1, 表2, 参42, p. 51-69
 Г. М. Утехин: ザカルパチア地方の内因性鉱床累帯配列のタイプ 図1, 表1, 参22, p. 70-80
 В. В. Чупров: 中部ザバイカル地方における錫鉱床とタングステン鉱床の累帯分布について 図1, 参13, p. 81-92
 В. К. Денисенко: 中部カザフ地方カラオバ稀少金属鉱床におけるタングステン鉱化作用の累帯分布性 図4, 表1, 参17, p. 93-101
 М. И. Воин, А. П. Казак: ザウラル=オルスク地方クマク=コタンスン擾乱帯の稀少金属鉱化作用・金鉱化作用の累帯分布について 図3, 参12, p. 102-111
 Н. И. Шумская: 内因性分散ハローの累帯配列と潜頭鉱体探査へのその意義 図2, 表1, 参5, p. 112-122
 И. В. Ляхницкая: コラ半島ペーチェンガ銅-ニッケル硫化物鉱床の垂直累帯構造 図4, 表1, 参6, p. 123-133
 Г. В. Ициксон, М. Ф. Кутырева: カリ長石中のカリウム・ルビジウム・セシウム濃集累帯分布要素としての構造的解釈 図5, 表3, 参44, p. 134-151
 И. Г. Павлова, Д. В. Рундквист: 脈田周辺グライゼンの累帯配列の特徴について 参19, p. 152-161
 Г. Н. Еникеева: 中部カザフ地方スカルン鉱床田の累帯配列における緑れん岩の役割 図4, 表5, 参4, p. 162-178
 Г. Т. Волостных: 粘土化岩鉱化部・非鉱化部の累帯配列の特徴 図12, 表5, 参23, p. 179-197
 А. Д. Щеглов: 鉱床生成帯の分類原則に関する批判 参28, p. 198-203
 Ю. В. Казицын: 浅熱水性鉱床周縁粘土岩の交代累帯構造 図4, 表11, 参11, p. 204-227

6) ウクライナ共和国科学アカデミー燃料地質・地球化学研究所(1974):「Геология и полезные ископаемые соленосных толщ(含岩塩層の地質と鉱物資源)」, ナウコバドウムカ出版所, キーエフ, 240p., 27×18 cm(露文),UDC: 552.53+553

目次

- В. И. Китык, О. И. Петриченко: ウクライナの含岩塩層系, それと関係ある鉱物資源, 国民経済での利用の展望 図3, 参37, p. 5-14
 Г. Н. Доленко: 油田・ガス田区における岩塩ドーム構造分布規則性についての問題によせて 図9, p. 14-25
 В. С. Журавлев: 現世深海と海盆における岩塩層構造地質現象 参68, p. 25-32
 Г. Е.-А. Айзенштадт, М. В. Горфункель: 岩塩層構造地質形態とマグマ作用形態の基本分類について 表1, 参7, p. 32-36
 В. К. Гавриш, Л. И. Рябчун: ドニエプル=ドネツ凹地岩塩層系の形成における深在断層の役割 図3, 参6, p. 36-41
 В. А. Разницын: 大ドネツ盆地のアウラコゲンの発達とドニエプル=ドネツ凹地におけるデボン系岩塩層堆積作用 参18, p. 41-47
 М. П. Фивег: 火山作用と岩塩層堆積作用 参20, p. 47-52
 Н. М. Джиноридзе, В. И. Раевский: ハロジェネシスの諸問題 図3, 表2, 参26, p. 52-60

- Н. А. Кудрявцев : 「蒸発岩」の交代起源に関する新資料 図 3, 参19, p. 60-66
- В. И. Созанский : ハロジェネシス問題に対する諸批判 参23, p. 66-70
- О. И. Петриченко : 岩塩層生成条件に関する情報源としての鉱物中の包有物 表 1, p. 70-73
- О. И. Петриченко ほか 2 : ウクライナ地方古期塩水盆の塩水組成について 参 7, p. 73-77
- В. Н. Утробин : 前カルパチア前陸盆地モラッセ中のハロゲン層の位置と役割 図 3, 参17, p. 77-86
- Д. В. Гуржий : 前カルパチア盆地と後カルパチア盆地ハロゲン層の堆積相と堆積条件
参14, p. 86-90
- О. Д. Казанцев ほか 6 : 沿カスピ海凹地南西部のハロジェネシスとテクトジェネシスの研究法
図 8, 参31, p. 91-100
- М. В. Горфункель, Г. И. Слепакова : 沿カスピ海凹地の二疊紀後期, 中生代, 新生代における撓下の性質について 図 6, 参 9, p. 100-108
- В. Г. Кузнецов, Л. В. Каламкаров : 東ヨーロッパ卓状地南部古生代含岩塩層の比較解析
図 1, p. 108-119
- А. Е. Атеев : ソ連の稼行岩塩鉱床の地質構造と探査法 図 6, p. 119-127
- А. Н. Бокун : ソロトバ凹地岩塩層構造の構造物理的モデル化の諸結果について
図 1, 表 2, p. 127-133
- С. М. Корневский : ハロゲン層系とその母岩に関係ある有用鉱物コンプレックスの分布規則性
図 3, 表 1, 参25, p. 133-146
- М. А. Климов : 前カルパチア地方含カリ岩塩層系とカリ塩鉱床探査の展望
図 3, 参 7, p. 146-156
- Е. Ф. Станкевич, Ю. В. Баталин : 大陸ハロジェネシスとそれに関係ある鉱物資源
表 3, 参18, p. 156-162
- В. В. Благовидов : 中央アジア陸成岩塩層系 図 1, 参 6, p. 162-165
- А. Д. Бритченко ほか 5 : ドニエプル=ドネツ凹地南縁帯デボン系岩塩層系の相交替と石油・天然ガス胚胎性の展望について 図 3, 参 3, p. 166-171
- В. В. Колодий : 含岩塩層系発達地域の水理地質学的諸特徴 表 1, 参 8, p. 171-176
- С. С. Козлов ほか 2 : 岩塩ドーム層と同被覆層の地下水の水理力学的・水理地球化学的相関性について 図 2, 表 2, 参 3, p. 176-183
- М. Г. Валяшко ほか 4 : ステブニク加里塩鉱床含岩塩粘土孔隙水の化学組成の形成
図 4, 表 1, p. 183-190
- Е. И. Вульин ほか 3 : ウクライナ共和国の自然硫黄鉱床と硫黄胚胎性の展望 参12, p. 191-196
- А. И. Отрешко : 岩塩ドーム構造の帽岩のタイプと硫黄胚胎性の展望 表 1, 参 9, p. 196-204
- Д. И. Павлов : 粗粒玄武岩貫入体接触帯における岩塩の変成と含鉄熱水の生成問題 参24, p. 204-208
- Е. Ф. Малеев : 前カルパチア地方の火山作用とその岩塩モラッセ鉱床形成に対する影響
参27, p. 209-214
- М. Диаров, С. Утегалиев : 風化残留層の構造の特徴—カリ塩探査の指標 図 6, 参11, p. 214-224
- Н. И. Банера, А. Л. Протопопов : ハロジェネシス過程の周期性に関する問題
図 1, 参17, p. 224-229

7) **А. Б. Каждан (1974)** : 「Методологические основы разведки полезных ископаемых (鉱物資源探査の方法論)」, ネードラ出版所, モスクワ, 271p., 図97, 表18, 参81, 24×18 cm (露文), UDC : 550.8

目 次

第1章 地質学的探査原則
概要

鉱物資源と地質構造単元・同空間配列規則性との関係

鉱物資源の鉱物組成と化学組成の特徴

鉱床の工業的タイプと鉱床田の構造

第2章 鉱物資源の不均一性研究の原則

概要

地下における岩石の不均一性と有用鉱物集積体の地質学的性質

不均一現象の規模とその分類原則

自然鉱物資源生成体の構成単位

不均一性要素の線尺度と試料の大きさによる不均一性の分類

不均一性要素の線尺度と測点間隔による不均一性の分類

自然鉱物資源生成体の構成の異方性

有用鉱物の性質研究の特質とその測定易変性についての概念

第3章 探査の工学的・経済的前提

基本概念と用語

自然鉱物生成体の地質的・工業的評価に対する、またその性質の易変性の概念に対する生産需要の影響

地質探査過程と地質的・経済的評価過程における研究対象についての概念の変化

最低品位決定の理論と応用の現状

不毛岩部の最高許容規模と鉱床胚胎係数の限界値

鉱物資源構成体の地質的・工業的モデル

第4章 探査の方法と原則

概要

探鉱坑道などのシステム

探鉱坑道内での観察とサンプリング

探査量の評価

探査の基本原則

第5章 地質調査過程における基本認識法としてのモデル化

モデル化の課題、対象、種類

鉱床・鉱体のグラフィック＝モデル化と立体モデル化

有用鉱物の性質の鉱山幾何学的モデル化

地質数理的モデル化の原理

地下の鉱物資源の性質のモデル化

地下の鉱物資源の観察可能な性質の不均等性のモデル化

地質調査過程のモデル化

第6章 統計的モデル

研究史概説

統計的モデルの本質と適用条件

地質調査課題解決へのモデルとして利用される理論散布度

経験的資料と理論的モデルの調和チェック法

パラメータの評価

各種散布度条件下における間隔の評価

仮説の検討

2次元モデル

多元モデル

第7章 固体力学的モデル

研究史概説
 固体力学的モデルの本質と適用条件
 固体力学の基本概念
 地下における鉱物資源の性質変化状況把握のためのモデルの応用

第8章 静偶然函数型モデル
 研究史概説
 静偶然函数型モデルの本質と適用条件
 偶然函数理論の基本概念
 地質調査パラメータのモデル化への静偶然函数計算適用の可能性
 地質調査課題解決への偶然函数特性の適用

第9章 多調和偶然函数型モデル
 研究史概説
 多調和偶然函数型モデルの本質と適用条件
 偶然函数のスペクトル組成の概念
 地質調査課題解決への本モデル適用の可能性

第10章 地質調査の実際における各モデル適用効果を規制する要素

第11章 サンプリングの理論的基礎

第12章 探査鉱量の評価と地質調査パラメータ平均値の評価

まとめ

8) ソ連科学アカデミー バシユキール支部地質研究所ほか (1974):「Тектоника и магматизм Южного Урала (南ウラルの構造地質とマグマ作用)」, ナウカ出版所, モスクワ, 291p., 27×18 cm (露文), UDC: 551.24; 551.21; 551.22 (470.5)

目次

Г. С. Сенченко : 南ウラルの構造地質の基本問題 参44, p. 3-8

П. Ф. Сопко, М. А. Кулагина : 地塊構造に関連したマグニトゴルスク大複向斜マグマ作用の発達 図1, 参30, p. 8-22

В. А. Романов : 南ウラルのテクトジェネシスの主要段階と主要相 図7, 参14, p. 22-34

О. А. Кондаин, А. Г. Кондаин : ウラルにおけるタンジェンシャルな転位とその変種・生成期・落差 表1, 参19, p. 35-41

И. С. Огарин, Г. С. Сенченко : 南ウラルの潜優地向斜帯 図2, 参30, p. 41-53

М. А. Камалетдинов, Т. Т. Казанцева : ウラルその他の褶曲区のオフィオライト=コンプレックスの構造的位 参22, p. 53-58

К. П. Плюснин : ウラルの褶曲構造の累帯性と発達段階性 図1, 参17, p. 59-66

П. Н. Швецовほか4 : ウラル=バシユキール地方西斜面のリーフェイ期構造フォーメーション帯 図1, 参19, p. 66-75

П. Е. Оффман, Э. А. Буш : 押しかぶせ構造問題と関連づけた南ウラルの構造地質について 図3, p. 76-79

О. В. Беллавин, И. Ф. Таврин : ウラル地方地殻中での花崗岩山塊と超塩基性岩山塊の配列 参23, p. 79-83

А. П. Рождественский : 南ウラルの後ヘルシニア構造発達史 参49, p. 84-90

И. С. Вахромеевほか2 : マグニトゴルスク大複向斜の構造とマグマ作用の発達段階 図2, 参37, p. 90-101

А. С. Бобохов : 南ウラル地方バシユキール地域のデボン紀中期の火山作用と構造地質 図1, 表1, 参21, p. 101-107

- В. А. Маслов, П. В. Аржавитин: マグнитゴルスク大複向斜の火山源コンプレックス生成期と火山作用段階 図1, 参6, p. 108-114
- С. В. Руженцев: Урал地方サクマル帯の構造的位罫と内部構造 図2, 参12, p. 114-121
- В. И. Козлов, А. А. Пацков: 南ウラル地方のバシュキール大複向斜とウラルタウ複背斜の関係 図1, 参11, p. 121-129
- В. И. Ленных, В. И. Петров: 構造発達史と関係ある南ウラル西斜面岩層の变成とマグマ作用についての新資料 図2, 表4, 参36, p. 129-141
- И. Б. Серавкин: マグнитゴルスク大複向斜西翼における初成火山構造と地体構造の関係 図2, 表1, 参13, p. 141-148
- Б. М. Садрисламов: 南ウラル地方シルル系・デボン系下部火山源堆積層系の古構造地質的堆積条件 図2, 参7, p. 149-155
- А. М. Виноградов ほか5: Урал山脈オレンブルク地方の古火山復元による硫化鉄鉱脈の構造 参15, p. 155-162
- С. Г. Грешнер: Урал地方タギル=マグнитゴルスク帯の地向斜火山作用の進化と構造発達の諸特徴 図2, 参7, p. 163-167
- Н. И. Халевин ほか4: 地震観測データによるマグнитゴルスク凹地の地殻 図3, 参35, p. 168-176
- В. В. Сагло ほか6: Урал山脈オレンブルク地方の地質構造・マグマ作用発展の特徴 図1, 参10, p. 177-185
- Р. Г. Гарецкий, И. Б. Дальян: 石油・天然ガス胚胎性の展望に結びつた西および南プリムゴジャル地域の深部構造 図2, 参14, p. 185-192
- Я. А. Рихтер, М. А. Кригер: マグнитゴルスク大複向斜東翼におけるデボン紀中期火山源コンプレックスの地質構造の特徴 図1, 参7, p. 192-198
- Д. Н. Салихов: マグнитゴルスク大複向斜の造山性花崗岩類 参7, p. 198-200
- В. Г. Кориневский ほか3: Мゴジャル地方サクマル緑色岩帯・西緑色岩帯のマグマ作用とその構造帯区分上の意義 図1, 表1, 参8, p. 200-206
- Б. Д. Магадеев: Урал山脈地質発達史の構造地質-マグマ作用周期性によせて 参15, p. 207-209
- А. А. Скрипий: 南ウラルにおける地向斜褶曲生成機構のタイプ 図5, 参9, p. 209-220
- А. М. Косарев, Л. Н. Сопко: 南ウラル地方マカン=プリパイ地区プレンドィク累層石英安山岩-流紋岩層の構造と生成条件 図3, 表2, 参15, p. 220-232
- В. В. Радченко, А. В. Клочихин: 南ウラル地方クラカ超塩基性岩山塊区の構造的位罫 図2, 表2, 参11, p. 232-241
- Д. Г. Ожитанов: クラカ山塊区の地質とその押しかぶせ構造説に対する批判 参10, p. 242-249
- А. К. Замаренов: 前ウラル前陸盆地南部の構造 図2, 参17, p. 250-257
- Г. И. Самаркин ほか3: Урал山脈オレンブルク地域ヘルシニア期後期花崗岩山塊の岩石化学組成と鉱床胚胎性に対する構造地質的生成条件の影響 図2, 表2, 参6, p. 257-269
- И. В. Жилин, Ю. П. Бердюгин: Нязепетровфस्क地区火山源岩の組成と構造的位罫 参3, p. 269-271
- М. А. Гаррис ほか2: 同位体年代研究によるウラル地方のマグマ作用・構造地質の討論問題 参34, p. 271-279

9) ソ連科学アカデミー実験鉱物学研究所(1973):「Фазовые равновесия и процессы минералообразования(相平衡と鉱物生成過程)」, (Очерки физико-химической петрологии), вып. III, Наука出版社, Москва, 255p., 27×18 cm (露文), UDC: 550.4

目次

Л. Л. Перчук: 深成岩中のCa-単斜輝石との平衡 図4, 表5, 参39, p. 3-11

- И. П. Иванов, В. Ф. Гусынин : $\text{SiO}_2\text{-NaAlSi}_3\text{O}_8\text{-Al}_2\text{O}_3\text{-H}_2\text{O}$ 系の T-P 平衡
 図2, 表1, 参9, p. 11-15
- Л. Л. Перчук, В. А. Суворова : 黒鉛-ダイヤモンド相転移領域における $\text{CO} \cdot \text{CO}_2$ の逃散能の熱力学的計算
 図2, 表3, 参4, p. 15-18
- К. И. Шмулович : $\text{CaO-MgO-SiO}_2\text{-CO}_2$ 系の鉱物平衡ダイアグラムと接触変成問題への2・3の適用
 図7, 表4, 参29, p. 19-35
- В. И. Сорокин, Н. И. Безмен : $600^\circ\text{C} \cdot 1,000 \text{ kg/cm}^2$ の場合に塩化物溶液と平衡する Zn-Fe-S 系の硫化物
 図4, 表1, 参7, p. 36-42
- В. Ф. Гусынин : パラゴナイトの熱力学的性質
 表1, 参11, p. 43-45
- И. Я. Некрасов : 熱水条件下の $\text{MgO-CaO-B}_2\text{O}_3\text{-H}_2\text{O}$ 系の実験的研究 図10, 表11, 参35, p. 46-71
- С. П. Кориковский : 変成作用による白雲母-フェンジャイト質雲母の組成の変化
 図18, 参35, p. 71-95
- В. И. Фонарев ほか3 : 三斜晶系ポリタイプ 1 Tk の合成葉蠟石
 図4, 表4, 参15, p. 95-103
- Р. А. Некрасова, И. Я. Некрасов : 500°C , $1,000$ 気圧下での $\text{La}_2\text{O}_3\text{-SiO}_2\text{-B}_2\text{O}_3\text{-H}_2\text{O}$ 系の相関係
 図5, 表7, 参27, p. 103-118
- Г. П. Зарайский, В. Н. Зырянов : 花崗岩のアルカリ交代作用の実験的研究
 図19, 表14, 参38, p. 119-156
- Ю. В. Алехин : 滲過過程の流体力学と滲過効果
 図3, 表4, 参65, p. 157-193
- Л. Д. Куршакова : ヘデンベルグ輝石の熱水合成に対する溶液の酸度-アルカリ度の影響
 図10, 表7, 参14, p. 194-206
- Ю. Е. Горбатый, Г. В. Бондаренко : 高温・高圧下での水の分子スペクトル
 図10, 表4, 参79, p. 207-231
- В. В. Суриков, Г. В. Бондаренко : 赤外線吸収スペクトル法によるカミングトン角閃石の構造の結晶状態別 Mg^{2+} および Fe^{2+} 配置の研究
 図4, 表4, 参14, p. 231-240
- Т. А. Зиборова, И. Я. Некрасов : $\text{La}_2\text{O}_3\text{-B}_2\text{O}_3\text{-SiO}_2\text{-H}_2\text{O}$ 系硼素珪酸塩溶液の赤外線吸収スペクトル
 図4, 表2, 参15, p. 240-246
- М. Б. Эпельбаум : 高温・高圧下の液体密度および液体-液体限界張力測定装置
 図4, 表1, 参16, p. 246-248

10) ソ連科学アカデミー シベリア支部ブリヤート出張所(1970) : 「Рудоносность и структуры рудных месторождений Бурятокой АССР (ブリヤート自治共和国の鉱床胚胎性と鉱床の構造)」, 地質学部門報告, 地質学編, выпуск 2 (10), ウラン=ウデー, 153p., $27 \times 18 \text{ cm}$ (露文)

目次

- Ю. М. Бажин, А. Д. Дарижанов : 北バイカル高原の含マンガン鉱下部古生層 図3, 参6, p. 3-18
- Ю. П. Гусев ほか2 : ザバイカル地方南西部モルスキー山脈原生代後期イタンツァー累層の堆積相とマンガン鉱床胚胎性について 参5, p. 19-27
- Ю. П. Бутов : ビチム高原北西部の古生代前期堆積岩層系と火山源一堆積岩層系の鉱床胚胎性
 図2, 参18, p. 28-40
- Е. Е. Батурина : 地塊構造とジダー鉱床生成域中生代メタロジェニーとの関係について
 図1, 参13, p. 41-51
- С. А. Гурулев : 鉱脈と岩脈に充填された空隙の生成機構について 図10, 参12, p. 52-64
- Г. С. Рипп : クルバ鉱床生成域多金属鉱床群の鉱石組成と地球化学的特徴 図4, 表3, 参9, p. 65-78
- Г. А. Феофилактов : 東サヤン地方トゥマヌイ地区金鉱脈群分布位置の構造条件 図1, p. 79-82
- Р. З. Архипчук : 西ザバイカル地方螢石鉱化体の生成条件について 表1, 参7, p. 83-89
- Г. А. Феофилактов : 東サヤン地方キトイ=ウリク鉱床生成節の花崗岩類山塊と金鉱床との成因的關係

- について 図 1, 参 19, p. 90-100
- С. А. Гурулев : アルミニウム資源としてのプリバイカル地方北部藍晶石片岩利用の見通し 図 3, 表 2, 参 21, p. 101-109
- П. В. Осокин : モルスキー山脈磷灰土の物質組成とタイプについて 参 1, p. 110-116
- К. Г. Башта : モロдежуное温石綿鉱床 図 5, 表 1, 参 9, p. 117-131
- О. В. Соколов : チェレムジャン鉱床石英資源のタイプと品質 表 5, 参 2, p. 132-146
- В. И. Кирасирова, Г. И. Туговик : Байкал湖南東沿岸の鉱床生成区と鉱物共生 図 1, 表 1, 参 5, p. 147-152